

# 柏崎刈羽原発の危険性浮きぼりに

「福島原発事故から6年 ともに考える3・12市民のつどい」に200人！

原発ゼロ長岡市民ネット主催の「福島原発事故から6年——ともに考える市民のつどい」が3月12日(日)に開かれ、会場の長岡商工会議所大ホールは200人を超える参加者でいっぱいになりました。

矢引代表のあいさつの後、南相馬市から長岡市に避難している高田直光さんが「私も『安全神話』の中にいたが、あの悲惨な事故でそれは崩れた。もう原発の再稼働は絶対にあり得ない。地道な活動でストップさせる以外にない」と切実な思いを語りました。

続いて「危険な柏崎刈羽原発の実相」と題して立石



雅昭さん(新潟大学) 名誉教授・新潟県原発の安全管理に関する技術委員会委員)が講演。

福島原発事故の検証、上の課題、原発の最大

のリスクである地震・活断層、地震動の過小評価の問題などについて専門的に分かりやすく説明。また、福島第一原発の4倍以上もの多量の地下水、地盤の液状化、重要免震棟の耐震性不足の問題など、柏崎刈羽原発の特別なリスクについても具体的に明らかにされました。重要免震棟の問題については、東電の隠ぺい体質はもとより、それが見抜

けなかった原子力規制委員会の科学的判断力のなさや大きな問題であると厳しく指摘しました。

参加者からは、「とてもわかりやすかった。立石先生、さすが素晴らしい学者。今後の運動へのアドバイス、参考になりました。規制委員会への運動と県の委員会のがんばりも期待したい」などの感想が寄せられました。

(裏面の感想もご覧ください) 最後に事務局からの報告があり閉会。その後、中心街をパレードし、「柏崎刈羽原発再稼働反対」「原発いらない」「再生可能エネルギーに転換しよう」とアピールしました。



会場で5700円のカンパが寄せられました。

## 福島原発事故 国と東電に責任 避難者集団訴訟で初判決

福島原発事故で福島県から群馬県などに避難した住民らが国と東電に損害賠償を求めた訴訟の判決で、前橋地裁は3月17日、巨大津波の予見可能性があったと認め、国と東電に総額3855万円の支払いを命じました。

新潟日報は18日付社説で、「国と東京電力の過失を初めて認め、法的責任を明確にした画期的な判決といえよう」と述べています。

国の責任を認めたことは大きな意味を持ち、再稼働路線を突き進む国の原子力政策が厳しく問われます。

## 福島を忘れない私の取り組み my募金箱

会員のNさんから2年分の思いがぎゅっと詰まった募金箱が届けられました。福島原発事故直後から始めた募金は4缶目になります。「長岡は30km圏内、福島を忘れない」と手書きしたビンに、福島を思っっては入れた募金が4943円に。Nさんは、また新しい缶を作って原発ゼロを願って募金をスタートしました。



ミニ学習会 4月19日(水) まちキャン4階

◆ 4月の街頭行動 4月11日(火) 16:30~17:30 アオーレ前 ご参加を!

<p>原発ゼロ長岡市民ネットニュース</p> <p>第64号 2017年3月22日発行</p>	<p>連絡先 広井洋子 長岡市寿2-5-15</p> <p>電話・FAX 24-2870</p> <p>矢引 090-3063-6365 佐藤 090-4925-3707</p>
---	---

## 「福島原発事故から6年 ともに考える3・12市民のつどい」 寄せられた感想・意見



- ★初めて参加させていただきました。専門的な所もありましたが、よくわかりとても良かったです。ただ、参加者が私同様年寄りが多く、もっと若い人々に知らせていかなければと思います。
- ★福島第一原発の現状、事故の解析の現状と課題、規制委員会の能力の限界、柏崎の地層の状況など、整理して話をしていただき、自分自身の頭の整理ができた。良い講演でした。
- ★専門的な立場から具体的にお話されて、いかに柏崎刈羽原発が危険な立地条件か、地震・断層 恐ろしくなります。避難計画のマニュアルもいかげんで恐ろしい。考えれば考えるほど、原発ゼロしかないと考えています。貴重なお話をありがとうございました。
- ★おもしろかったア～！
  - ・原発の建物は「起こり得る最強の揺れ」に備えるのが望ましいが…。実際の基準地震動は揺れの「平均」に若干の上乗せ!?? 平均値で計算すべきじゃないでしょう！ネェ～!!
  - ・活断層かどうかは〇億年単位ではなく、〇十億年単位でみないと…。ウワ～！追いつけない！
  - ・何だったか?の解析で、規制委員会も県の技術委員会でも解析できなかったことを、東電の技術者たちが解析していたこと。しかも東電の隠蔽体質！ 規制委員会の認可って何なの!?? それなのに再稼働だなんて…。ネェ～ツ！
  - ・柏崎刈羽原発の地下水がF1より多いって聞いたような気がするけど…。どうやって測るの?→現地でくみ上げている量で測るんですよ～。エ～ッ！ フウ～ン！ おおお～ッ！ びっくり！ おもしろッ！ の連続の講演でした。ありがとうございました。
- ★いつもご苦勞様です。立石先生のお話は、専門的な点についても大変勉強になりましたし、運動論としても勉強になりました。ありがとうございました。
- ★立石先生の講演は分かり易くて良かった。6・7号機の進み具合が気になります。
- ★私たちは自分の力でどうにもならないことに手を出してしまい、気付いた今、すぐに止めなければと強く思いました。初めっから生命を守る術なんてないのに。とても恐いです。  
(みんなの力がそこまで及ばないのなら事故処理がうまくいなくても仕方ないんだと思いながら聞いていたけど、まだ力が達しない事に見切り発車などすべきでないとして強く強く思いました。)
- ★立石さんの最後の言葉 「日本海へ流れる汚染水は暖流に乗って北海道へ行く。日本海は太平洋より狭いから」
- ★・いろいろな矛盾があることがとても分かりました。パソコンでカラーの部分が見られず残念でした。
  - ・ 東電の隠ぺいに腹が立ちます。これに負けず真実を伝えられるようにしたいです。今日、聞き、柏崎の実相がよく分かりました。友達に話していきたいです。又、一致できることは何か考えていきたいです（反対者へ）。避難経路…命を大切にできることが第一ですね。
  - ・ 先生も様々な所でご講演してください。ご健康でいられることを祈っています。
- ★信じられない、考えられない、被災者に対する『いじめ』。許せない、怒り心頭。ただちにマスコミを通じて教育せよ。国民、市民、親も子ども達に対してだ。国・政府はこの息苦しい民族性を『はじ』とすべきだ。
- ★最初は専門用語が多く解りづらかったが、世界で最も地震の多いこの日本で、安全が確認されていない原発を稼働していた。これからも稼働するという電力・国への怒り、空恐ろしさを感じる。度重なる東電の事故隠し、数値の過小評価もあり規制委員会がする適合審査にも不信感が募る。経済も大事だが、安全安心の生活を送る為に、又、未来に禍根を残さないために、活動を広げていきたい。
- ★札束で沈黙を押しつけられた引け目が、反対行動をしにくい（できない）原点になっているのではないのでしょうか。現金と神話と発展という夢物語で地元住民を黙らせる手法は“水俣”をはじめほとんどの公害問題に使われてきました。そこには現金の差別（配分の差）・個人的生活条件の差別（土地の評価・代替地の差）などによる住民に対する罹災者間の不統一がみごとにつくりだされていると思います。企業・政権のシナリオどおりに進められています。そこをどのように再構築するか、当然のこと 検討されているとは思いますが、一番の被害者の地元の地域で進まないのが残念に思います。「フクシマ・カリワ」の問題が住民にわかりやすくなっているとき、まさに「イマデショウ」だと思います。